

見えないものを見てみよう
Let's see what We cannot see

三菱みなとみらい技術館

Mitsubishi Minatomirai Industrial Museum

Goal 4,9

目的：宇宙に存在するすべてのものを作っている素粒子について学び、講義に加え、ノーベル賞を受賞した霧箱を用いて実際に実験することで、より宇宙を身近に感じてもらうために講座を開催しました。

実施日時：2018年8月20日（月）11:00～12:00／14:00～15:00

実施場所：三菱みなとみらい技術館 2階多目的ルーム

講師：総合研究大学大学院／高エネルギー加速器研究機構 青木 優美氏

協力：一般社団法人 先端加速器科学技術推進協議会

実施内容：素粒子とはなにか、どのような種類があるのかといった入門的な内容を学びました。実験では霧箱内にアルコールのガスを充満させて容器内のみ明るく照らし、放射線源から α 粒子および電子が放出される様子を飛跡から観測しました。子どもたちは興味深そうに眺め、付き添いの大人も意欲的でした。今回行った実験を家で再現するにはどうしたらよいのか、ただ実験するだけでなく何について調べるとさらに効果的か解説しました。主に小学3年生以上を対象とした講座でしたが、小学1・2年生も積極的に参加しており、難しいと感じながらも普段なかなか経験できないことを身の回りにあるものを使って実験することができるので、とてもやりがいがあったという感想をいただきました。

